

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		公害対策事業		担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3901	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務					
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり	根拠法令 個別計画等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、埼玉県生活環境保全条例					
	小項目	1	自然・生活環境の保全							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、市内の大気や河川水質等の調査監視及び公害防止、公害苦情相談の対応を行っていくものである。								
目的 ※何のために		市内環境の測定、調査を行い、公害防止に活用するため。								
対象 ※誰・何を対象に		一般環境大気及び大気基準適用施設中のダイオキシン類濃度、市内の河川等の水質、自動車交通騒音、公害発生箇所等を対象とする。								
手段 ※どのように		業務委託により調査を実施し、必要な行政指導等を行う。								
成果 ※何を求めるか		現状把握と経年変化把握のための資料活用に加え、異常値が出た場合の原因調査等への活用等、公害の防止に努める。								
執行体制		■ 職員 ■ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NP0等 □ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	7	公害対策費	7,966,718	
本事業の 主な業務		・河川水質の測定及び調査				・大気中のダイオキシン類濃度測定				
		・大気・水質事故関係の対応				・大気基準適用事業所のダイオキシン類濃度測定				
		・自動車交通騒音の監視				・				
		・騒音、振動、悪臭関係苦情の対応				・				
		・騒音、振動関係届出書の受付事務				・				
		・公害防止組織関係届出書の受付事務				・				

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	10,662,000	9,657,000	9,938,000	9,513,000	9,513,000	9,499,000
	決算額	9,303,389	7,777,100	8,068,110	7,746,200	7,966,718	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	180,000	168,000	132,000	200,000	200,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	9,123,389	7,609,100	7,930,110	7,766,718	9,299,000
人件費	従事職員数(人)	1.96	1.96	1.52	1.96	1.96	1.96
	人件費相当試算※	15,246,840	15,252,720	12,319,600	15,946,560	15,213,354	15,937,442
総事業費試算		24,550,229	23,029,820	20,387,710	23,692,760	23,180,072	25,436,442

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	河川水質調査地点数（環境基準適用河川）	目標値	地点	4	4	4	4	4	4	
		実績値		4	4	4	4	4	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			例年業務として予定している地点数/当年度に調査した地点数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	河川水質調査検体数（環境基準適用河川）	目標値	検体	24	24	24	24	24	24	
		実績値		24	24	24	24	24	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1地点において年6回（隔月）調査 / 当年度に調査した検体数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	大気ダイオキシン調査地点数	目標値	地点	9	7	7	7	7	7	
		実績値		9	7	7	7	7	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			例年業務として予定している地点数 / 当年度に調査した地点数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	環境基準超過地点数（自動車交通騒音）	目標値	地点	0	0	0	0	0	0	
		実績値		2	3	0	0	1	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			すべての地点で環境基準を満たしていることが望ましい。 / 環境基準未達成箇所数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	環境基準超過地点数（河川BOD）	目標値	地点	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	3	1	1	4	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			環境基準適用河川で基準を満たすことが望ましい / 環境基準未達成箇所数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	環境基準超過地点数（大気中のダイオキシン類）	目標値	地点	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			すべての地点で環境基準を満たしていることが望ましい。 / 環境基準未達成箇所数						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	河川水質、ダイオキシン類ともに、計画した地点で適切に測定を実施している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	河川のBODについては、すべての測定地点で環境基準を超過した。 また、自動車交通騒音で1地点の昼間で環境基準の超過が見られた。
			評価者 環境保全係長 佐藤 秀和

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	計画した環境測定はすべて実施された。 ICTの活用に関しては、騒音振動等の届出の電子申請を導入し、受付後の事務処理を電算化して効率化を図った。
			評価者 環境保全係長 佐藤 秀和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公害対策事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	3901
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		引き続き環境測定を実施するとともに、環境基準未達成地点については原因分析を行い、改善に努める。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	環境水道部次長兼環境課長 野中 護				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	北部環境管理事務所と連携し、パトロールを強化していく。

8. 評価指標グラフ

